

PICK UP

1

包括業務提携

## 「静岡・山梨アライアンス」の取り組み

2020年10月28日、山梨中央銀行と包括業務提携「静岡・山梨アライアンス」を締結しました。



### 背景・目的

- 静岡県と山梨県は、従来から隣接県として経済的な結びつきが強く、2021年度には「中部横断自動車道」の全面開通が予定され、交流人口の増加やモノの流通の拡大が見込まれるなど、より一層関係性が深まることを期待されています。
- 静岡銀行と山梨中央銀行では、これまでビジネスマッチングなど地方創生に資するさまざまな協業に取り組みながら、両県および両行の持続的な成長に資する提携の可能性について検討を重ねてきました。
- こうしたなか、両行の独立経営を堅持し、地域で築きあげた顧客基盤やブランドを維持しながら、経営資源の利活用によるトップラインの拡大、店舗や事務の共同化などを通じた業務効率化・経費削減の効果が期待できる包括業務提携の形で契約を締結しました。

### 取組内容

- 本提携では、両行の経営の独立性、顧客基盤や企業ブランド、店舗網の維持などを前提として、5つの取り組みを中心にスピード感をもって推進します。

- ① 両県経済の発展に資する協業（両行取引先の販路拡大や双方地域への営業進出の支援等）
- ② グループ会社機能など相互の経営リソースを活用した収益獲得
- ③ 各種システムやバックオフィス業務の共同化によるコスト削減
- ④ 重複エリアの店舗共同化や相手方店舗を活用した営業エリアの拡大
- ⑤ トレーニー派遣や人材交流、研修の合同開催による人材育成など

- 両行合計で100億円以上の提携効果（5年累計）を目指します。



## 静岡ティーエム証券山梨本店のオープン

2021年4月20日、山梨中央銀行の本店内に「静岡ティーエム証券山梨本店」をオープンしました。

静岡銀行グループの証券機能を山梨中央銀行に提供することで、静岡銀行グループでは新たなマーケットの開拓を図り、山梨中央銀行では、従来以上に幅広い資産形成・資産運用ニーズにお応えする体制を整備しました。



## 商談会の共同開催

静岡・山梨両県の地元企業をバイヤーとする個別商談会を開催しています。両行グループのお客さまの販路開拓と、地産品の消費拡大を支援することで、地域経済のさらなる活性化に取り組んでいます。

2021年 2月 NEXCO中日本SA/PAテナント  
 3月 株式会社オギノ  
 5月 株式会社静鉄ストア  
 6月 NEXCO中日本SA/PAテナント(2回目)



## 人事交流

両行グループの企業文化の相互理解を図るとともに、アライアンス施策の実効性を高めるため、ファイナンス分野(2名)、イノベーション分野(1名)、ライフプラン分野(16名)とさまざまな分野での人事交流を実施しています。

このほかにも、「若手行員交流会」「内定者交流会」などを実施し、両行従業員のコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。

## 部活動交流大会

2021年4月10日、「山中湖交流プラザ・きらら」を会場に「部活動交流大会」を開催しました。当日は、野球、サッカー、テニスの3つの部活動が交流試合を行い、総勢100名以上の従業員がスポーツを通じて親睦を深めました。



### 「静岡・山梨アライアンス」の象徴としてロゴを制定しました

#### コンセプト

- 両県のシンボル「富士山」をモチーフに、両グループのコーポレートカラーを主体に彩りを加えた
- 両行が「独立性を維持しながら成長を目指す姿」とともに、カラフルな三角形により両行従業員の「多様性」を表現した